



一時保育の待機について。

公明党 関連質問

AQ 保健福祉部長 南郷162
人、鳴浜453人、松尾402人が利用、待機はいません。
Fアミリーサポートセンターについて。

A 市長 計画はありません。

・環境問題について

QA レアメタルを含む携帯電話と入れ歯リサイクルの推進について。

A 市長 ホームページに掲載して啓発を行い、広報等も活用します。入れ歯は、ゴールドクラブ連合会の各窓口で受け付けています。

QA 山武市地域エネルギービジョンについて資源を有効利用する際、資源年数の試算は。

A 市長 数字は掌握しています。

QA 合併浄化槽が国の60%の目標に向けて前回の35・5%から現在の普及率について。

A 経済環境部長 平成21年2月1日現在約41%です。

A 市長 公共下水は財政的に大きな投資が掛かるため合併浄化槽を重点的に考えている。

Q ジョンについて資源を有効利用する際、資源年数の試算は。

A 市長 数字は掌握しています。

Q 合併浄化槽が国の60%の目標に向けて前回の35・5%から現在の普及率について。

A 経済環境部長 平成21年2月1日現在約41%です。

A 市長 公共下水は財政的に大きな投資が掛かるため合併浄化槽を重点的に考えている。

・行財政改革について

QA 平成20年8月28日に設置された人事組織検討委員会での検討部会の進捗状況、並びに給与等に関する見直し等についてどのような状況にあるのかお聞かせ下さい。

A 総務部長 人事評価制度の早期導入を目指し、現在、検討委員会でモデル試行ということで実施しています。平成21、22年度において全体的に試行を行い、公平・公正というものを期するためにも、ある程度の期間が必要と認識をしている。行政組織部会では10年後の職員数の目標を350人に設定し効率的な行政運営の見直しに取り組んでいる状況です。職員給与については平成19年度に旧町村それぞの給与の内容を精査した上で、平成20年4月の昇給時にこれらを反映し給料の調整はほぼ終了しました。今後は人事評価制度によって、同じ土俵で評価して給料等に反映できるものとを考えています。

・国保成東病院の方向性と課題について

QA 平成22年4月1日、独立行政法人の設立と聞いております。残された日数は400日間。そこに至るまでのプロセス、並びにタイムスケジュールができ上がっているのかどうかお聞かせ下さい。

A 副市長 残された短い期間で独法化の検討に向けた議論を進めてまいりたい。まずは、病院の中で議論をする仕組み、あるいは構成市町で協議をする仕組み、外部の有識者の方にも意見をお伺いし、また住民にも情報を提供しながらガラガラス張りのなかで今後の検討を進めていくたいと思っています。

・福祉問題について

QA 緊急一時的に、(月に7日を限度)、私的、育児に伴う精神的・身体的負担の解消などで、(月に2日を限度)利用できる一時保育を利用する方の配慮はどのようにしていますか。

A 保健福祉部長 もう一度調査しまして、公平・公正な行政ができるようやりたいと思います。

QA 山武市地域新エネルギービジョンが策定をされました。平成19年12月の定例会にて、補助金の活用ということで、エネルギービジョン策定の提案をさせていただきました。一言で言えば、策定することにより補助を受けるためのテーブルにかけることができるというものであります。この策定にかかる経費は、NEDOの確定審査を受け、山武市が前払いしている額について

て100%くるものです。しか

で、しっかりと受けとめさせていただきたいというふうに思います。

・公明党 関連質問

QA 成東中学校・各出張所・市役所に啓発のためのペレットストーブの導入が可能になりました。今回、緊急雇用関係の事業を使い、前倒しで市で製造してまいります。

A 経済環境部長 ペレットの製造につきましては、幸いにして予算化できましたので、度からペレット製造開始となっていますがお聞かせください。



本山 英子 議員



川原 春夫 議員

・環境問題について

QA 病院議会をしっかりと置づける中で、病院議会の役割と責任を明確にしていただけたいと思いますが市長のご見解をお伺いいたします。

A 市長 病院議会につきまして、今まで傍聴規定がございませんでしたので、傍聴ができるように規定を作りました。そういうことで、病院議会をしっかりとまず外に聞くということ、それからそこで議論が活性になされるという条件整備も必要でございます。病院議会が建設計画的な話し合いをする場になつていいべきであろうという御提言だと考えております。

・環境問題について

QA 山武市地域新エネルギービジョンが策定をされました。平成19年12月の定例会にて、補助金の活用ということで、エネルギービジョン策定の提案をさせていただきました。一言で言えば、策定することにより補助を受けるためのテーブルにかけることができるというものであります。この策定にかかる経費は、NEDOの確定審査を受け、山武市が前払いしている額について

し審査の段階でおかしなところがあれば、これが1つずつ額が減っていく要因になるそうですので、最後までぜひ気を抜かずには頑張ってください。平成23年度からペレット製造開始となつていています。

A 市長 下水道計画をしっかりと作って、その中の取組みを練り直したい。